

| | | | |
|----------------|----------------|----|--------------|
| ○事業所名 | 東京YMCA PIT西早稲田 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2026年 3月 9日 | | 2026年 3月 27日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 29 | (回答者数) 18 |
| ○従業者評価実施期間 | 2026年 3月 9日 | | 2026年 3月 27日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 5月19日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に 行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | ・日々の支援や利用者との関わりを通して、一人ひとりの状況や特性について理解を深め、職員間で共通認識を持ちながら支援を行っている。 | ・毎回、支援前の打ち合わせと支援終了後の振り返りを丁寧に行っている。職員一人ひとりが意見を出し合い、利用者の状況や変化について確認しながら、より適切な支援方法を検討している。 | ・定期的なモニタリングの充実を図り、利用者一人ひとりの支援目標について見直しや検討を行いながら、より適切な支援の実施につなげていく。 |
| 2 | ・小学生から高校生まで幅広い年代の利用者が在籍しており、長期的に成長を見守りながら、継続した支援を実施している。また、保護者とも継続的に連絡を取り合い、信頼関係の構築に努めている。 | ・送迎時や電話、メール等を活用し、利用者の様子や活動内容について保護者へ丁寧に報告している。水泳は半年に1回、泳いでいる様子を録画を見せながら報告をしている。 | ・職員の資質向上を目的として、外部の民間研修を含めた研修機会を増やしていく。また、研修参加者による報告の場を設け、職員全体の学びや支援力向上につなげていく。 |
| 3 | | ・保護者から相談があった際には、気持ちに寄り添いながら丁寧に話を聞き、一緒に考える時間を持つとともに、必要に応じて助言を行っている。 | ・利用者の成長段階に応じた様々な課題について、保護者と協力しながら支援を行うとともに、学校や相談支援機関等との連携をさらに強化していく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が 必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | ・地域の放課後児童クラブや児童館等との交流の機会を持つことができていない。3月には休日開講として、希望者を募り地域の子ども総合支援センターへ遊びに行く企画を実施したが、申込者数が少なく、開催には至らなかった。 | ・利用者や保護者のニーズは多様であり、地域の子どもの交流機会を希望していない場合もある。また、日々の活動内容の中で、利用者が地域と関わる機会が少ない状況にある。 | ・法人内には、区から委託を受けて運営している児童交流施設があるため、休日開講を活用し、希望者を募って交流の機会を設ける企画を検討していく。 ・地域の清掃活動等への参加を通して、利用者が地域と関わるきっかけづくりを行っていく。 |
| 2 | ・地域の関係機関や外部専門機関との関係性が希薄であり、連携体制の強化が課題となっている。 | ・地域の関係機関との情報共有や意見交換を行う場が少なく、継続的な連携につながりにくい。 ・外部専門機関と連携した取り組みが十分ではなく、支援体制のさらなる充実が課題となっている。 | ・地域の関係機関や外部専門機関に関する情報を積極的に収集するとともに、事業所からも積極的に連絡を取り、継続的な関係構築や連携強化に努めていく。 |
| 3 | | | |